

わたしのまちの

千早赤阪村 CHIHAYAAKASAKA MURA

風物詩

「自然・歴史・人が織りなす、四季折々の伝統まつり ~太平記の村~」

千早赤阪村は、金剛・葛城山脈の主峰金剛山（標高1,125m）と「太平記」に登場する武将楠木正成生誕の地として有名な、自然と歴史の香り高い村です。

千早赤阪村では、この美しい自然と歴史と人とが織りなす、地域固有の伝統まつりや行事が一年を通じて行われ、後世に引き継がれています。

春

4月と5月には、武将楠木正成の誕生日と自刃した日に「楠公祭」が行われます。祭では、楠公誕生地で神楽奉納などが行われ、建水分神社では餅まきが行われます。地元では、このお祭りを「くすのきさん」と呼び、親しまれています。

夏

7月には、金剛山頂で夏山の安全を祈願する「蓮華祭」が行われます。これは、山伏姿の行者の行列が、山頂の葛木神社から転法輪寺までほら貝を吹きながら歩き、転法輪寺では破魔矢を射たあと護摩を焚いて山を清めるといふ、全国でも珍しい神仏混交のお祭りで、いかにも修験道の開祖・役行者が修業した聖地にふさわしいものです。



春：楠公祭



夏：蓮華祭



秋：建水分神社秋祭り

冬：金剛山
樹氷まつり



秋

10月には、五穀豊穰を祝う、建水分神社秋祭りが行われます。祭りでは神輿と地車が村内を練り歩き、千早赤阪村だけでなく、富田田市や河南町からも地車が御旅所に一堂に会する様は壮観です。そして、独特の「にわか」が奉納され、祭もクライマックスを迎えます。

また、中津神社では、地元の若者による獅子舞が奉納されます。

冬

1月と2月には、新年の元旦に、金剛山頂で初日の出を見る「金剛山初登り」が行われます。また、1年で最も寒くなる1月から2月にかけて、金剛山頂あたりは、しばしば霧氷で白く染まり、自然が生み出す芸術を楽しむことができます。「金剛山樹氷まつり」では、あたたかい豚汁が振るまわれ、多くの登山客で賑わいます。

“あなたも自然・歴史・人が織りなす、四季折々の伝統まつりを太平記の村で体験してみませんか”

● お問い合わせ先 ●

千早赤阪村秘書政策課

TEL：0721-72-0081（内線 213）

FAX：0721-72-1880

E-mail：kikaku@vill.chihayaakasaka.osaka.jp